

## 府内市町村の動き



### 池田市

■ 池田市は、独自のイメージキャラクター「ふくまる」とロゴマークを活用して、市制施行70周年を盛り上げている。

これは、来年4月に市制施行70周年を迎えるにあたり、記念事業ロゴマークとイメージキャラクターを公募により決定したもの。

当初、キャラクターの名称は、市民実行委員会に決めてもらう予定だったが、「市民から広くアイデアを募りたい」として公募に切り替え、「ふくまる」に決定した。

市ではこの取組を通じて、市民一丸となり、市制施行70周年を盛り上げていきたい考え。

ふくまる・ロゴマーク



福ふくまるまち池田



### 河内長野市

■ 河内長野市教育委員会は、遺跡解説本「大師山古墳・三日市遺跡」を発行した。

これは、遺跡を通じて市の歴史を知ってもらおうと、専門的な報告書とは別に作成しているもので、子どもにも理解できるように地図やイラスト、写真をふんだんに活用している。

市ではこの取組を通じて、市民に市の歴史の理解を深めてもらいたい考え。

遺跡解説本「大師山古墳・三日市遺跡」



### 摂津市

■ 摂津市は、「犯罪被害者等支援条例」を7月から施行した。

これは、犯罪被害者が受けた被害の軽減と回復を目的としたもの。相談・情報提供、見舞金の支給、日常生活の支援、家賃等の補助、就業支援など、被害者や遺族の生活全般を総合的に支援する内容となっている。

条例の施行にあわせて、専用窓口を設置し、様々な相談や申請を一括して受け付けるようにした。

市ではこの取組を通じて、犯罪被害者支援の動きをPRしていきたい考え。

## 岬町

- 岬町は、「ゆめ・みらい」サポート事業」を始めた。

これは、町の「サポーター」になった団体が地域貢献事業を実施する場合、告知ポスター等に「岬“ゆめ・みらい”サポート事業マーク」の利用を認めるもの。

あわせて、同事業の趣旨に賛同する人から「ふるさと納税」を募り、サポーターのために活用することを検討している。

町では、民間の知恵を活用して、町の更なる活性化を図りたい考え。

## 全国の市町村の動き

### 埼玉県熊谷市

- 熊谷市は、7月から「熱中症予防情報メール」通知サービスを開始した。

これは、(財)日本気象協会と提携して、市内の実測データを基に算出した熱中症指標ランクを、携帯電話にメールで通知するもの。

市では、昨年40.9度の日本最高気温を記録したことを受けて、暑さ対策を主軸とした「あっぱれ！熊谷流プロジェクト」を実施しており、今回の事業はその一環として行われる。

市ではこの取組を通じて、市民の健康増進につなげたい考え。

### 山梨県富士吉田市

- 富士吉田市は、企業誘致等私有地土地活用台帳登録制度を始めた。

これは、市内の遊休私有地（2,000㎡以上の一

団の土地）を登録してもらい、進出希望のある企業に対して登録用地を紹介するもの。

登録された事業用地を企業が購入して、操業を始めた場合、謝礼として事業用地の登録申請者に報奨金を支払う。

市では、私有地を含めた企業誘致を進めることで、遊休地の有効活用と雇用創出につなげたい考え。

### 愛知県大口町

- 大口町は、資源ゴミの収集にスタンプカード制度を導入した。

これは、ゴミ分別の徹底を目的としたもので、スタンプがたまれば、景品や報奨金がもらえる。

町役場等で登録するとスタンプカードをもらえ、資源ゴミ収集時などにスタンプを押印してもらえる仕組み。

町ではこの取組を通じて、ゴミ分別の徹底とゴミの減量化につなげたい考え。

### 佐賀県唐津市

- 唐津市は、佐賀大学と九州大学の学生を対象としたインターンシップ希望者の募集を始めた。

市は、それぞれの大学と相互協力協定を締結しており、同協定に基づく協力活動の一環として行うもの。市が仲介役となって、市内に本社や工場が所在する企業を、大学を通じて学生に紹介し、企業は、学生との面談等を実施し受け入れを決める。

市ではこの取組を通じて、地元企業の活性化につなげたい考え。